

2021 年度愛知県一般検査研究班 2 月講演会

アンケート集計結果

作成日：2022 年 3 月 2 日

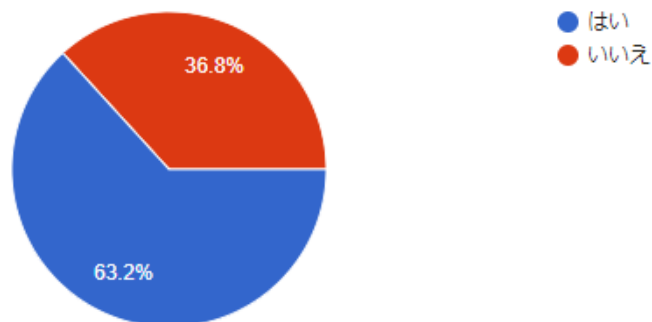
【精度管理報告会に関するご意見、ご感想】

- ・精度管理、勉強になりました
- ・尿糖試験紙のメーカー間差は、今後どのようになるのでしょうか？
- ・他県の精度管理報告会でしたが、とても勉強になりました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・一般の精度管理報告は他の部門と違って写真をしっかり提示して教えていただけるので、いつもわかりやすいです
- ・他施設の定性検査の判定基準やフォトサーベイの正答率など知ることができました。フォトサーベイにおいては間違いやすい上皮など特徴を復習することができました。精度管理の重要性や沈渣鏡検の技術向上など自施設でも再考していきたいと思います。
- ・フォトサーベイの解説が分かりやすかったです。
- ・Web 開催で参加しやすく内容を何度も確認出来て良かった
- ・分かりやすかった
- ・糞線虫の解説、尿中異型細胞の鑑別の解説が参考になりました。
- ・勉強になりました。
- ・わかりやすかったです。
- ・髄液の多核単核の鑑別で、背景色がほぼ同じに見え違いが分かりづらいと思った。
- ・大変勉強になりました。
- ・精度管理報告に関して詳しく解説頂き、初心者の私でも分かりやすく、非常に勉強になりました。
- ・虫は苦手ですが、サーベイの解説を聞くたび、調べたり納得したりできるのがとても助かります。
- ・分かりやすく説明されており、今後の臨床に生かせる内容であった
- ・フォトサーベイの解説とてもわかりやすく為になりました。
- ・とても参考になりました。
- ・考え方も解説していただき勉強になりました。
- ・アンケートについて他部門のように、案内メールにリンクアドレスを記載していただけると操作がスムーズであると思います。
→ 視聴後にアンケートに答えて頂きたいために、あえて案内メールにリンクアドレスを記載しておりません。ご理解ください。

【特別講演について】

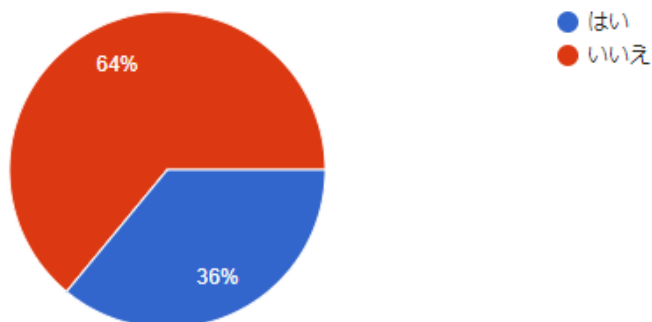
演者からの質問：（講演を視聴する前の回答）臨床検査技師の仕事はAIに置き換えられると思う？

125 件の回答



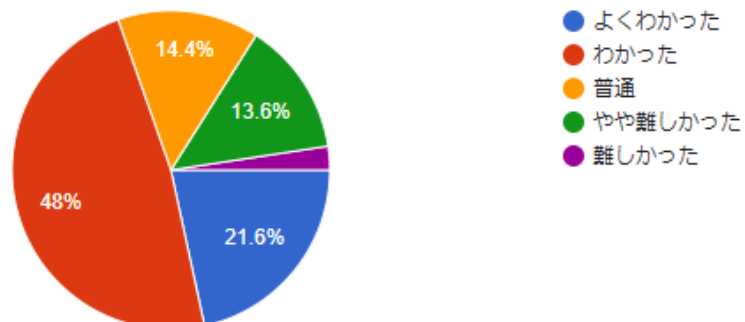
演者からの質問：（講演を視聴した後の回答）臨床検査技師の仕事はAIに置き換えられると思う？

125 件の回答



内容について

125 件の回答



- ・ AI の現状について知ることができました。
自分の仕事について見直し、今後 AI がされるかもしれない状況に備えなければならないと思いました。
- ・ AI の先生の声が小さくて聞き取りづらかった。
- ・ 特別講演がおもしろかった
- ・ AI との共存、創造性に欠けることがわかった
- ・ 置き換えられる、というか既存の検査技師が淘汰あるいは選別されると思います。
職種としては、最後に仰っていたように AI の判断を監督する仕事が出てくるように思います。
- ・ 医療機器への AI の応用はまだ画像診断支援に限られており、検査結果からの病名診断は難しいということが理解できました。AI が得意なこと、苦手なことを理解した上での共存が望ましいですが、臨床検査分野では遠い将来の応用となりそうだと感じました。
- ・ AI がどこまで進歩していて、医療に関わり始めている事がわかりました。
検査の仕事は AI に全部は置き換わらないと考えられますが、検査技師は AI の特徴を理解して、共存していく必要があると思いました。
- ・ AI については、曖昧な知識でしたが、講演をきいて、まだまだ人がやるべきこと、人にしかできないことが多いと感じました。
- ・ A.I.に置き換えられないと回答しましたが、講演でも言われていたように、上手に共存しながら、技師がやるべきことを見極めていかなければいけないと感じました。
- ・ AI に単純作業を任せれば、新たな仕事を行うことができるので、当分の間は共存の形になるのでは
- ・ 臨床検査の一部は AI に置き換わる事は有っても、形態学の最終鑑別は技師の経験と感性に頼らざるを得ないと思う。
しかしながら、スクリーニングは AI に取って換わらざるを得ないと感じる。
- ・ これからの臨床検査のあり方を考える上でとても勉強になりました。高校での情報教育は、この先の時代を作っていく将来の検査技師に期待がもてます。
- ・ 難しいところですが、検査技師としてやっていかなければならないところをしっかりと見極める、ことがわかりました
- ・ 機械や AI に詳しくない自分にとって理解するにはやや難しい内容ではありましたが、これから医療も多彩に進化してゆく中で、AI にできること、検査技師にしかできないことを、他人事にせず身近に感じながら考えていきたいと思いました。
- ・ 医療に関わる他の分野についての講義内容はとても新鮮でおもしろかった。今後、AI が広く検査分野に導入されることで、作業で追われる業務から頭を使う仕事に置き換わっていくのだろうとおもった。より専門性の高い知識のある技師が求められると思った。
- ・ 検査も日常も変化を感じている日々です。
新しい事象についての情報(講演など)を、仕入れることも『Nudge』ですね
- ・ 医療機器においては、インプットする情報は量よりも質(正確性)が重要になる事がわかりました。
尿沈渣においては未だ結果値の名称の統一が不完全です。データインプットの為にはまずは名称が統一される事から始めなければいけないと思うのですが、その場合、どの機関が陣頭指揮を取る事になるのかなと思いました。

- ・論理的思考を充実させていくことが重要だと学びました。AI と共存しながらよい医療を患者さんに提供できるようにさらに勉強していきたいです。
 - ・検査技師全ての仕事を AI に任せることは不可能と考えますが、AI の得意分野において AI に置き替えていくことは、リスクの面でも考えていくべきだと思います。
 - ・AI と検査技師との今後の関わり合いについて細かく講演していただき、わかりやすかったです。今後、検査技師として AI と共存していくなかで AI のことを理解していくことの重要性を知りました。
 - ・数年後の AI と医療の状況について再講演を希望します。
 - ・10 年前の研修会で ISO の講演があったのだが「認証」「承認」の違いが講演者も理解できていなく、うやむやであったのが今回の特別講演で理解することができた。
 - ・「操作より原理を理解して AI と共存していく」なるほどなおもいました。
 - ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
 - ・具体的な検査事例があったら知っていた
 - ・私が従事している一般検査において、尿沈渣では画像診断となるため AI への置き換え可能だと感じ、対する人間として焦りを感じました。しかし、尿定性検査や髄液検査では異常発色や異常細胞などは人間の目視が必要不可欠であるため、その点では AI に負けないように従事するとともに、AI と共存する未来を考えても良いのではないかと思います。
 - ・back to basic.AI と上手く付き合うために大切なことだと思います。ドラマ『ホワイต์ドクター』で言っていました。「AI が診断を間違えたのではない。使う人がポンコツだった。」と。ポンコツと言われたい努力を惜しまないようにしたいと思います。
 - ・何となく検査技師の仕事は無くなっていくのかなと考えていたので AI との共存の話は面白かったです。
 - ・これからは AI との共存が不可欠であると感じました。
 - ・検査技師は検査や検査数値の説明など療養相談をできるようにしていく必要があると感じました。
 - ・業務に関連しつつ、あまり知識として知らない分野の講演内容を聴講することができ、大変良かったです。AI の得意な領域をうまく活かし、論理的思考を磨きながら、今後業務に臨みたいと思います。論理的思考については指導、教育にも役立てたいと感じました。
- AI ご専門の先生のご講演だけに、スライドにも飽きさせない工夫が随所に織り込まれ、聴講しやすかったです。ありがとうございました。企画担当の方にもお礼申し上げます。
- ・興味深く拝聴させていただきました。
 - ・AI を脅威として考えていましたが、講演を聞いてよき相棒として共生していきたいと思いました。今後、制約(有限)のある労働力で業務を回すには AI の力は強力な味方になると思います。共生できるように自分の力をつけていきたいです。
 - ・講演の中にもありましたが、創造性の問題であったり最終判断や励ましなど AI にとって未だ得意ではない作業があるので、全てが置き換えられるわけではないと思います。しかし、それを踏まえても将来的には多くの部分では AI に置き換えることができるのではないかと感じました。
- 貴重な講演、ありがとうございました。
- ・大変興味深い話でした。これからの高校で情報 1.2 の授業があるとの事でした。日臨技でもこれからの研修会でも取り上げて研修会を行っても良いのではないかと思います。

- ・将来的な臨床検査技師と AI の関係についてよくわかりました。
- ・今回の内容はとても興味深い内容でした。企画していただいた皆さま、お疲れさまでした。